

2 調査会審議経過

国際・地球環境・食糧問題に関する調査会

委員一覧（25名）

会 長	藤原 正司（民主）	徳永 久志（民主）	野村 哲郎（自民）
理 事	大島 九州男（民主）	友近 聡朗（民主）	橋本 聖子（自民）
理 事	平山 誠（民主）	白 眞勲（民主）	水落 敏栄（自民）
理 事	島尻 安伊子（自民）	福山 哲郎（民主）	若林 健太（自民）
理 事	山田 俊男（自民）	藤末 健三（民主）	石川 博崇（公明）
理 事	加藤 修一（公明）	舟山 康江（民主）	紙 智子（共産）
理 事	桜内 文城（みん）	有村 治子（自民）	中山 恭子（日改）
	ツルネン マルテイ（民主）	熊谷 大（自民）	
	外山 齋（民主）	佐藤 正久（自民）	

(23. 11. 30 現在)

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、国際問題、地球環境問題及び食糧問題に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第176回国会の平成22年11月12日に設置された。本調査会では今期3年間にわたる調査活動のテーマを「世界の水問題と日本の対外戦略」と決定し、第2年目は「アジアの水問題」について調査を進めることとなった。

今国会においては、平成23年11月30日に「アジアの水問題」（タイにおける洪水被害とその対応）について、国土交通省及び経済産業省から説明を聴取するとともに、新井泉参考人（独立行政法人国際協力機構理事）から意見を聴取し、それぞれに対し質疑を行った。

なお、178回国会閉会後の10月5日及び6日の両日、水問題への取組に関する実情調査のため、兵庫県及び大阪府に委員派遣を行い、11月30日に派遣委員の報告を会議録に掲載することを決定した。

〔調査の概要〕

11月30日の調査会では、「アジアの水問題」（タイにおける洪水被害とその対応）について、政府から洪水の全般的状況とこれまでの緊急対応状況、被害の特徴とそれを踏まえた今後の対応、日系企業等の被害状況と我が国の取組、タイ政府の短期・長期の洪水対策等について説明を聴取するとともに、参考人からODAによるこれまでの協力の在り方、我が国の支援と今後の方向性等について意見を聴取した。続いて政府及び参考人に対し、より早い段階からの政府による洪水対策支援の展開と今後の衛生面での協力、現地進出企業に対する迅速・的確な支援の展開と韓国等の対応、日系企業の今後の動向とタイ人従業員の一時受入れの見通し・作業の迅速化、チャオプラヤ河上流のダム調整による被害縮小の可能性とタイ政府への適切な対応の要請、海外進出企業自身によるリスク管理と政府による支援の妥当性、農業関連及び教育等子供たちへの支援の必要性、我が国の技術を活用した積極的な支援推進、海外進出す

る企業への洪水リスク情報の提供の在り方、世界各国に提供している防災パッケージの具体的内容、タイ全体への支援の重要性と日系企業被災に偏重した日本国内での報道ぶりの是非、政府による海外展開企業のリスクマネジメントの枠組み提

供と海外出先機関間の情報共有・連携強化の必要性、タイからの輸入食料品価格への影響の見通しと対策、今後の洪水対策支援における我が国の水関連技術の活用、タイ以外で同様の洪水リスクがある地域等について質疑を行った。

(2) 調査会経過

○平成23年11月30日(水) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 派遣委員の報告は、これを会議録に掲載することに決定した。
- 「世界の水問題と日本の対外戦略」のうち、アジアの水問題（タイにおける洪水被害とその対応）について政府参考人から説明を聴き、参考人独立行政法人国際協力機構理事新井泉君から意見を聴いた後、政府参考人及び同参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

白眞勲君（民主）、山田俊男君（自民）、石川博崇君（公明）、桜内文城君（みんな）、紙智子君（共産）、中山恭子君（日改）、徳永久志君（民主）、加藤修一君（公明）、ツルネンマルテイ君（民主）、藤末健三君（民主）、水落敏栄君（自民）、島尻安伊子君（自民）、藤原正司君（会長質疑）

○平成23年12月9日(金) (第2回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 国際問題、地球環境問題及び食糧問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については会長に一任することに決定した。